

SNMP を使用して WSA の予防的にパフォーマンスの監視

目次

[はじめに](#)

[SNMP モニタリング ツールを通してどの値が予防的に監視します Cisco WSA のパフォーマンスを確認することができますか。しきい値アラートはどんなレベルで設定する必要がありますか。](#)

概要

この資料は簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) の Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA) のパフォーマンスの監視を予防的に記述したものです。

SNMP モニタリング ツールを通してどの値が予防的に監視します Cisco WSA のパフォーマンスを確認することができますか。しきい値アラートはどんなレベルで設定する必要がありますか。

Cisco WSA を監視するとき、SNMP ポーリングのための最も重要な項目は次の通りです:

- Client 要求/第 2
cacheThruputNow (.1.3.6.1.4.1.15497.1.2.3.7.1.1)どたん場の要求 スループット
- 応答所要時間
cacheTotalRespTimeNow (.1.3.6.1.4.1.15497.1.2.3.7.9.1)キャッシュはどたん場の応答時間を合計します
- CPU使用
cacheBusyCpuUsage (.1.3.6.1.4.1.15497.1.2.3.1.5)CPU のパーセント忙しい時間

注: WSA のための SNMP管理情報ベース (MIB) ファイルは [Cisco Web セキュリティ 製品 サポート ページ](#)で見つけることができます。

各顧客の環境は変わるので、飛び地がベースライン期間の間にあるかどうか見るために一定一定期間にわたるベースライン作業統計機構を収集することを推奨します。このベースラインの間に、期間にところ最大化される Client 要求/秒注意して下さい。 応答時間および可能性 CPU使用に対応した徹底的な増加があった場合、これはこの特定の環境のピーク パフォーマンスを表す可能性があります。 それ以上のテストし、モニタリングはこの最高レベルを確認するために実行された必要があります。

ベースラインの後で期間は経過し、特定の最大ピークは Client 要求 /second で観察されませんでした、人工的に 10% から目的に警告するための最も高い観察された Client 要求/秒の 25% の閾値を設定することを推奨しますあります。

パフォーマンスの監視およびこれらのハードウェア状態の SNMPトラップを送信 するために警告仕様は別として超過したしきい値はまた、Cisco WSA 設定することができます:

デフォルトで有効

- RAID ステータス 変更
- ファン障害
- 高温
- キー有効期限
- リンク
- リンク
- 電源装置 ステータス 変更
- アップデート失敗
- アップストリーム プロキシ失敗

デフォルトで無効にされる

- [接続失敗](#)
- 超過する CPU稼働率
- 超過するメモリ 利用

特定のプロキシ CPU使用をチェックする必要がある場合 [SNMP を使用して WSA の計算高いプロキシ CPU稼働率](#)を検討して下さい。